

# 新型コロナウイルス感染症対策の基本方針の具体化に向けた見解

## 2020年2月24日 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議から一部抜粋

この1～2週間の動向が、国内で急速に感染が拡大するかどうかの瀬戸際であると考えています。そのため、我々市民がそれぞれできることを実践していかねばなりません。

特に、風邪や発熱などの軽い症状が出た場合には、外出をせず、自宅で療養してください。ただし、以下のような場合には、決して我慢することなく、直ちに都道府県に設置されている「帰国者・接触者相談センター」にご相談下さい。

- 風邪の症状や37.5° C以上の発熱が4日以上続いている（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）
- 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

また、症状のない人も、それぞれが一日の行動パターンを見直し、対面で人と人との距離が近い接触（互いに手を伸ばしたら届く距離）が、会話などで一定時間以上続き、多くの人々との間で交わされるような環境に行くことをできる限り、回避して下さい。症状がなくても感染している可能性があります。心配だからといって、すぐに医療機関を受診しないで下さい。医療従事者や患者に感染を拡大させないよう、また医療機関に過重な負担とならないよう、ご留意ください。

教育機関、企業など事業者の皆様も、感染の急速な拡大を防ぐために大切な役割を担っています。それぞれの活動の特徴を踏まえ、集会や行事の開催方法の変更、移動方法の分散、リモートワーク、オンライン会議などのできる限りの工夫を講じるなど、協力してください。

以上を見解を踏まえて、今回の日本獣医療倫理研究会と日本小動物歯科研究会の合同シンポジウムは、2020年3月15日（日）の開催は致します。そこで参加者の皆様にお願ひがあります。**シンポジウム会場では全員マスク持参、着用で参加**してください。入り口に手指消毒用のアルコールを用意いたしますのでご使用ください。会場は天井が高く広い会場ですが、講演者と受講者の向かい合わせの距離を2メートル以上離れるように工夫いたします。スクール形式ですので、かなり感染は防げると考えます。また**懇親会は会話や接近が多くある現状になりますので中止**とさせていただきます。